

夏期交流会プログラム

7月28日(木)

【AM】

○学生に誕生日順に並んでもらって、その順番で机を挟んで座ってもらう。対面した相手と、与えられた話題について2分間話をする。時間がくれば1人ずつずれて、別の話題について話をするということを繰り返す。

※多くの人と話す機会を設けることにより、話したことがある人とはより深く相手を知り、今までに話したことのない人とは新たなネットワークを作る。

【PM】

○心理検査を受ける

心理検査を受けることは、心理学を学ぶ過程において重要な学習要素。

3・4年生で、実施のための訓練を受けてきた学生が、先生方の指導のもと実施しました。

1年生にとっては、2年後、心理検査を実施している自分を想像したかも知れません。

※自分が卒論執筆等で心理検査を実施する側になった時の、受ける側の気持ちを体験する。と同時に、テレビや雑誌等で「心理検査」を名乗っているものとの違いを感じてもらう。

7月29日(金)

【AM】

○佐久間先生進行

2人組 4人組 8人組 8人組
自己紹介 → 他己紹介 → 自己紹介 → 的あてゲーム
(自分を色に例える)

ゲームの目的は、知らない人同士で、どれだけ協力しあえるか？
チーム内での交流・結束が「鍵」となる。

【PM】

○前半：寺本先生進行

6～8人組み

(任意)グループ →

自分のよいところ・気になる(嫌いな)ところ
相手のよいところ・気になるところ

 指定用紙記入 → グループで話し合い → 感想を発表

○後半：自分自身の感情状態の変化を知る

POMS (Profile of Mood States)を中心に、4年生の卒業論文のためのデータ収集を含めて、被調査者としての体験をしてもらいました。**POMS**については、何度か繰り返し実施されており、その都度自己採点し、解釈の説明を受けています。特に、試験前と試験後の自身の気分状態の変化に対して、自己認識ができたかな？ おおーっ！という声もあがり、試験を挟んでのここ数週間の自分自身を、少しは把握できたのではないのでしょうか。